



あすいど 未来に挑む

猪名川町立猪名川中学校 学校通信

令和8年7月17日
発行者 石田 健一郎

7月1日(水)

■道徳(4時間目):各クラス教室にて

教科書の中から、いじめを取り扱った教材を使用した道徳の授業を行いました。いずれも、深く考えさせられる教材でした。どんな内容だったかお子様に聞いていただき、ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

1年「ソウタとミオ」 2年「5月の風〜ミカ・カナ〜」 3年「卒業文集最後の二行」



7月3日(金)

■いのちの授業(6時間目):イナホールにて

北海道を拠点に活動する「ナイト de ライト」(希望を歌うロックバンド)による「こころのライブ授業」。魂のこもった演奏とメッセージで、自分を否定しがちな年代の生徒たちに勇気と希望を与えてくれました。



◇◇生徒版「いじめ対応チーム」発足◇◇

いじめの起こりにくい学校にするには、「いじめを許さない」学校風土づくりが大切。そこで、4月に生徒版「いじめ対応チーム」を募集したところ、うれしいことに約10名の生徒たちが立候補してくれました。「いじめについて考える週」2日目の6月30日に第1回の会議をスタートし、これまでに3回の会議を開催しました。このチームでやってみたいことを尋ねると、「相談窓口をつくる」「休み時間に校内パトロール」「加害者との話し合いに対応チームの生徒も入る」など、さまざまなアイデアを出してくれ、頼もしい限りです。

生徒版「いじめ対応チーム」では、新たな仲間も募集中です!少しでもやってみたい気持ちがある生徒は、校長またはチーム担任まで申し出てください。

1学期の成長を力に、実りある夏休みを

1学期を振り返ると、さまざまな場面で生徒たちの成長を感じることができました。体育大会の取り組みで3年生が見せてくれた力強いリーダーシップと全校生のパワー。日々の学校生活では、授業で互いの意見を尊重し合いながらも真剣に話し合う姿や、廊下ですれ違ったときの気持ちのよいあいさつ、一生懸命清掃に取り組む姿など、多くの場面で猪名中生の素晴らしさを実感しました。

一方で、友達に合わせて悪口を言ったり、人を傷つけたり、公共の場で大騒ぎして迷惑をかけたり、ルールを破ったりするようなこともありました。「よくない」と分かっているが周囲に流されて行動する「偽善」とも言える行為です。

終業式では、本当は気が進まなくても困っている人を助ける、笑顔であいさつをする、ごみを拾うなど、たとえ「偽善」だとしても「正しい行動」を選ぶことの大切さについて話しました。他人に嫉妬したり、樂をしたいと思ったり、そんなマイナスの心は誰にでもあるものです。その気持ちのまま行動すれば、自分自身も周囲も傷つけるだけです。夏休みは学校を離れ、誘惑も増える時期だからこそ、正しい判断を大切にしてほしいと願っています。

保護者の皆様には、1学期の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。夏休みは、ご家庭で過ごす時間が長くなります。ぜひお子様の頑張りを認めながら、生活リズムや安全面にもご留意いただき、充実した夏休みとなりますよう見守っていただければ幸いです。

8月28日の始業式に、生徒たちが元気な笑顔で登校してくれることを教職員一同、心より楽しみにしています。



3年前、重大ないじめ事案が起きた本校では、同じ悲劇を繰り返さないよう、いじめが発生した6月最後の週を「いじめについて考える週」と定め、どうすればいじめがなくなるか真剣に考える期間としています。

2回目となる今年は、6月29日から7月3日までの1週間、次のような取り組みを行いました。

6月29日(月)

■全校集会(1時間目):体育館にて

【生徒会企画】まず、「ランドセルに悪口を書かれた張り紙をされた小学生を見かけた通行人はどんな行動をとるか」という実証実験の映像を視聴しました。その後、全校生徒を2つのグループに分け、「どう声をかけるか」、「どう声をかけられたいか」考えてもらいました。各自の考えを付せんを書いて貼り、生徒会役員の生徒が主な意見を紹介しました。



両方の立場の意見を聞くことで、当事者の立場で考えることの大切さを学んだひとときでした。

どんなことが書かれていたか教えてほしい(教えたい)という意見はありませんでした。

どう声をかけるか?	どう声をかけられたいか?
「だいじょうぶ?」	「だいじょうぶ?」
「話聞こうか?」	何も言わずに取ってほしい。
「相談にのるからね。」「負けるな。」	(どうされているのかは知りたくない)
「私に何かできることないかな?」	相談にのってほしい。「学校楽しい?」
だまってはがす。(内容は見せない)	「君は悪くないよ。」「味方だからね。」
「気にしなくていいよ。」	「学校・先生・警察に言ってあげようか?」
一緒に学校に相談に行く。	「この世にいない人なんていない。」
	声をかけられたくない。

■学活(2時間目):各クラス教室にて

【1・2年生】事前に行った生徒アンケートの結果をもとに、「悪口を言っているのを聞いたらどうするか」など、身近に起こりそうな問題について話し合いました。

【3年生】「遊び」や「ふざけ合い」、「いじり」と「いじめ」の境界線はどこにあるのか、グループで意見を出し合いました。「いじり」は、かつては笑いの手段とされ、よくいじられる人は親しみをこめて「いじられキャラ」などと呼ばれていました。しかし、話し合いを聞いていると、「いじり」はされている人が不快になるので「いじめ」同様「悪いこと」とみなしている生徒の方が多いようです。猪名中の生徒たちの間で、「された方がどう感じるか」を大事にする空気が広まりつつあるのだと、頼もしく感じました。

